



## 視覚障害者向けパソコン指導ボランティア研修会に参加

1月30日から2月20日にかけて、三重県視覚障害者支援センター（津市桜橋）において、上記研修会が開催され、CTF松阪からも会員3名が参加しました。以下は、この研修会に参加されたA.S様のレポートです。

視覚障害者向けパソコン指導ボランティア研修会に参加して

A.S

私は、お誘いを受け視覚障害者向けパソコン指導ボランティア研修会に、参加しました。

1日目、全盲のO先生が、静まりかえった一室でパソコンに向かい『この研習会の間は、マウスを使わずキーボードだけで操作してください』と言われました。戸惑いを感じながら、それでもやってみようと試みると、慣れないキーボード操作でまちがってしまい音声ソフトが読み上げると、それが聞こえるやいなや、O先生が、すぐに私の間違いに気付かれました。聴覚の確かさ、判断力の素晴らしさに大変驚きました。そして、普段画面を見て判断していた私にとって、音声ソフトでの判断は戸惑いがありました。

でも、2日目になると私も少し雰囲気慣れ、先生の笑顔にも触れお人柄が伝わり、楽しい思いに変わっていきました。

視覚障害者にとってパソコン操作を覚える事はいかに大変な事であるかという説明を聞きながら、ホームページ作成と一緒にさせて頂いた、CTF会員のSさんの、文字サイズを最大にし、なおかつ拡大鏡を使いながら、HTMLソースを編集して見えた姿が浮かんでき

ました。当時Sさんは、視覚障害者にも利用していただけのページをと、随分ご苦労されて作られていたのだと、改めて思い起こしました。

今回の研習会で、実際視覚障害者の講習にも補助のかたちで付かせていただき、視覚障害者の、パソコンの必要性を実感しました。そして、受講生のAさん・Yさんのパソコン操作を拝見し、殆ど明るさ程度しか見えないそうですが、雑音の中で肝心の音声を的確に聞き分けキーボードを操作される姿に驚きました。

その時「こんな事がしたい」と言うお話も伺い、晴眼者でも視覚障害者でも、心に限界がない(バリアーがない)人は、輝き、魅力的で、不可能も可能にする力を持ってみえると思いました。健常者であっても、心にバリアーをはってしまっただけでは、内にこもって判断の視野が狭くなり、心の目で見る事が出来なくなってしまいます。

この講習を通じ、限界を越えてがんばる意欲を拝見したように思います。ありがとうございました。

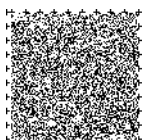
私も、パソコンを、多くの方が活用できるように、少しでもお手伝いが出来ればと思いました。



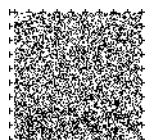
皆様大変ご無沙汰しております。最近仕事の関係で海外に出る機会が多くなりました。

国内同様に海外でも各部屋にブロードバンドサービスがあるホテルが多くなり、ネット環境が整ってきました。このため出張時にはノートPCは必需品です。どこからでもメールやインターネット、Skypeなどが利用でき、日本と簡単に連絡が取り合え非常に便利になりました。今持ち歩いているノートは重いので、もっと小型で軽いノートPCが欲しいと思う今日この頃です。

(UP)



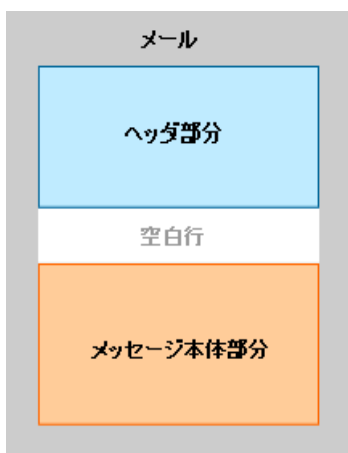
今月号は文字数が多いので、1ページと4ページにSPコードを2個ずつ付けてあります。1ページと4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。





## メールフォーマット

メールをやり取りする上で重要なのがフォーマット(データ形式)です。



基本的なテキストメールのフォーマットは、「ヘッダー」部分と「メッセージ本体」部分の二つに分けることができます。二つの部分は、空白行で分離されています。

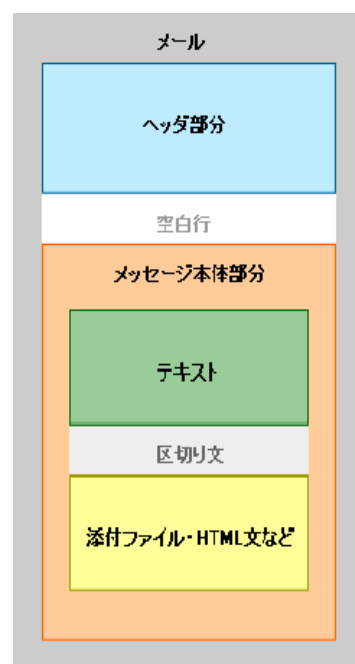
ヘッダー部分には、送信者の名前やメールアドレス、件名などの情報のほかにメールが届くまでに経由したメールサーバーの情報なども、このヘッダー部分に記録されています。

メッセージ本体の部分には、メールの本文が入ります。

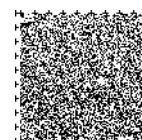
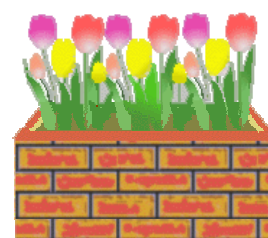
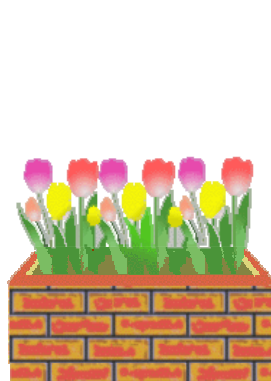
添付ファイルがあるメールや、HTML メールなどのフォーマットは、テキストと添付ファイル、あるいは、テキストとHTML文というように、メッセージ本体に入るべき部分が二つあります。(HTML メールは、テキストのみを扱うメールソフトでも読めるように、プレーンテキストのメッセージも一緒に送られるのが一般的です。)そこで、メッセージ本体部分を更に複数のパートに分けて、それぞれの部分を区切り文で分離した形のフォーマットが使われます。

区切り文によって、どこまでがテキストで、どこからが添付ファイルやHTML文であるかが分かります。

メールソフトはそれぞれの部分を読み取り、ユーザーに分かりやすい形で表示してくれます。



つづく



## 活動報告

### 【3月】

障害者対象個人向けパソコン講座  
(6日、13日、20日、27日)  
障害者宅訪問ITサポート  
(29日)

## 活動予定

### 【4月】

障害者対象個人向けパソコン講座  
3日、10日、17日、24日  
各9:30~11:30  
松阪市障害者福祉センターにて  
第23回理事会  
14日 13:30~16:00  
松阪市障害者福祉センターにて



### 平成19年度通常総会開催について

CTF松阪平成19年度通常総会を5月に開催する予定です。

会員の皆様には、日程・会場など詳細につきまして、後日ご案内いたしますので、せいぜいご出席くださいますようお願い申し上げます。

## おばあちゃんの手作り料理・お菓子

### 蒸しパン

#### 材料

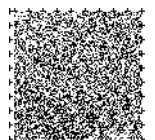
ホットケーキミックス・・・200g  
牛乳・・・・・・・・・・・・・・100cc  
卵・・・・・・・・・・・・・・1個  
砂糖・・・・・・・・・・・・・・大さじ2  
レーズン又はリンゴ・・・・・・適量



#### 作り方

ボウルに卵を割りほぐし、砂糖を加えて混ぜ、次に牛乳を加えて混ぜる。  
そこへホットケーキミックスを加えて、粉っぽさがなくなるまで混ぜ合わせる。  
レーズンまたは小さく切ったリンゴを加えて軽く混ぜる。  
アルミカップまたは耐熱の陶器に を七分目まで入れる。  
沸騰した蒸気が上がった鍋又は蒸し器に を入れ、フタをして12~13分蒸してできあがり。

今月のレシピは、料理がお得意の脇田利子様から提供していただきました。





今月は、最近 Windows Vista パソコンを買われた、か様からご投稿をいただきました。

47

買いました！ Vista！！

かの

2月下旬、迷ったけれど買いました Vista パソコン。

昨年暮れあたりから、『来年1月末に新しいパソコンが発売される』と、連れ合いを盛んにマインドコントロール。そのかいあってか、1月30日の Windows Vista 発売の TV 報道にも好意的な反応。

しかし当の本人はイマイチ踏み切れずに迷っていた。それは、今のパソコンの使い方を見ても、今のままで何一つ不自由はない、というのが一番大きな理由。たしか Windows98 から WindowsXP にバージョンアップしたときも、そんなことを言っていたなあ・・・

ところが、町内の知人が買い替えたのです Vista パソコンに。そして、環境設定・データの引っ越しなどの作業をお手伝いすることになった。どうにかとりあえずのことはできたものの、『これからもよろしく』などと言われると、これはもう決定打！

さていよいよ買うとなると選択肢は三つ、現有機の OS をバージョンアップするか、自作するか、あるいは完成品を購入するか。現有機はメモリを増設すれば対応可能のようであるが、WindowsXP も使いたいのので XP 専用機として残したい、自作と完成品購入とを比較すると、自作のほうが2万円ほど安くあがるが、気に入ったデザインのケースがないのと製作手間・リスクが伴う。

ということで完成品を購入したが、後から手が入られる部分は最低限のスペックとしたため、未だにアプリケーションソフトや周辺機器が整わず、折角の高機能 Vista パソコンもインターネット接続が主な用途という、宝の持ち腐れ状態である。

町内の知人からもその後特に相談もなく、我が家では依然として WindowsXP がメインで働いている。早まったかな？と、本人はちょっと反省気味であるが、連れ合いには『これは処理が早くて気持ちがいい』などとPRしている。

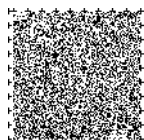
Vista に対する感想・意見などは、後日機会があればまとめて報告したいと思っている。



### 編集後記

少し前に、能登半島の方で大  
地震がありました。

地震は、何時おきるかもしれません。自分の命は自分で守ること、自分だけでは守るのが困難な方への心配りなど、地震対策とあわせて、地震に対する心がまえも考えておいた方がいいですね。



### CTF 通信第49号

2007年(平成19年)4月発行  
発行者 ITを活用した障害者支援NPO法人  
CTF 松阪  
発行責任者 川口保美  
住所 〒515-0081  
松阪市本町2181-1  
電話 0598-21-7268  
URL <http://ctf.dip.jp/>

